

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 コペルプラス東久留米教室

保護者等数（児童数）62 人 回収数 51 人 割合 82.3 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	49	2				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	41	5	1	4	・先生によって専門的な知識やスキルに偏りがあると感じる	・研修の機会を通して、質の向上に努めます
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	45	5		1	・教室に入るまでに階段があるのと、教室内にはトイレに段差がある	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	50	1			・うさぎ部屋の先生と子どもの席が変わったのが良かった ・乾燥する季節の加湿がされていると良い	・乾燥する時期の加湿に関して検討したいと思います
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	48	1	1	1	・先生がたは子どもにしっかり向き合ってくれていると感じる ・グルーブレッスンが月 1 回ではなく月半分くらいはグルーブレッスンが受けられると良い	・集団療育日以外でも、小グループでの療育を希望される方が複数人集まった場合、小グループでの療育を提供しています。スタッフにお声掛けください。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	45	3		3	・ベアトレはありがたいです	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	44	4	1	2	・先生によって子どもへの対応に差があり、子どもも先生によって態度を変えることがある。得るものが何もなく帰宅したり、マスクの下に笑顔がないのを見てわかる。子どもへの指示や誉め言葉に強弱がなく、伝わらず刺激	・支援計画を意識した療育と質の向上に繋がるよう取り組んでいます。

							が少ないため活動に興味を示さない。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	44	6		1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	21	2	14	14		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	49	1	1			
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	48	3				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	44	1	2	4	・今後も宜しく願います	

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38	12	1		・子どもの様子など、先生との距離感が遠い ・担当の先生が変わるので、先生間の情報共有の状況が不明	・療育時の振替やモニタリングやペアトレなども含めて、情報共有をする機会を再確認していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	11	5	1	・まだ始めたばかりのため、面談は行われていない	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	14	8	12		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	36	5	1	9		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	42	4	1	4	・相談しづらいと感じる	・療育時の振替やモニタリングやペアトレなども含めて、話せる機会を再確認していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	36	5		10		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	41			10		

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27	5		19		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	3	1	23		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	41	9		1	・くまさん先生と呼んでおり毎回楽しみにしています ・楽しみにしているようです ・休みたくない、増やして欲しいと言うくらい楽しみにしています ・今後もよろしく願います	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	42	8	1		・フラッシュカードをやる必要性があまり感じられない ・グループレッスンを増やしてほしい	・フラッシュカードは感覚刺激の1つです。フラッシュカードをやったから何かが出来るようになるというものではなく、幅広い刺激を入れることで、吸収の手助けになるという意味合いが入っています。 ・下旬に設定している集団療育以外の小集団を希望される方は個別にお声掛けください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。